

子どもの障害と支援 ルーブリック

評価項目	A	B	C	D
(1) インクルーシブ教育・保育の理念と制度、現状と課題について理解し説明できる(C-2)	インクルーシブ教育や保育の理念や制度について深く理解し、詳細な説明ができる。	インクルーシブ教育や保育の理念や制度について適切に理解し、説明できる。	インクルーシブ教育や保育の理念や制度について一部理解しているが、不十分な点がある。	インクルーシブ教育や保育の理念や制度について理解が不足している。
(2) 個々の子どもの障害特性の背景を理解し、発達や障害の特性に応じた支援の方法について説明できる(C-2)	支援の方法について深く理解し、独自の視点や詳細な説明を加えた課題が作成できる。	支援の方法について適切に理解し、課題が適切に作成できる。	支援の方法について基礎的な理解はしているが、課題に不十分な点がある。	支援の方法について理解しておらず、他人のアドバイスがあっても、課題を作成できない。
(3) 特別な配慮を必要とする子どもの保育の計画の必要性や、家庭・関係機関との連携の重要性について理解し説明できる(C-2)	保育の計画や家庭・関係機関との連携について深く理解し、詳細な説明ができる。	保育の計画や家庭・関係機関との連携について適切に理解し、説明できる。	保育の計画や家庭・関係機関との連携について一部理解しているが、説明に不十分な点がある。	保育の計画や家庭・関係機関との連携について理解が不足している。
(4) 障害児の保育場面における対応を具体的に考えることができる。	保育者の対応について深く具体的な考えを持ち、複数の観点から理由について詳細な説明ができる。	保育者の対応について具体的な考えを持ち、理由について適切に説明できる。	保育者の対応について具体的な考えができるが、理由の説明に不十分な点がある。	保育者の対応について具体的な考えを持つことができない。